

科 目 名	人間文化演習〔日本理解専攻〕			科目コード	GR104	
英 文 名	Graduation Research Seminar I (Major of Japan Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	吉元 菜々子		教員コード	165	単 位 数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	月曜日・3時限		授業形態	演習
学位授与方針 との対応	○	1.大学生としての幅広い教養を身につける		○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	○	3.論理的・批判的なものの見方を養う		○	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	◎	5.学習の過程で発見した課題を探究する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	本授業では、受講生の関心にもとづく文献の講読と先行研究の整理を行う。前期は文献の講読を行う。文献の内容を整理し、発表することを通じて、論文を書くための基礎的な知識と技術を習得する。後期はそれぞれの受講生が研究課題を設定し、研究資料を集め、その成果についてプレゼンテーションを行うことで、卒業論文のテーマ決定と執筆準備を進める。					
授業の狙い・ 到達目標	卒業論文に着手するための情報収集力、文献読解力、文章表現力を身につけることができる。また、プレゼンテーションの諸技法を習得することができる。					
授業内容の レベル・関連科目	これまで履修したすべての科目と関連する。					
授業外学習 (予習・復習)	毎回の授業で予習・復習について指示するので、それに従うこと。				授業外学習に 必要な時間	各回4時間、 合計120時間
使用教科書	教科書は使用しない。必要に応じて授業内で資料を配布する。					
参考書・ その他教材	河野哲也(2018)『レポート・論文の書き方入門 第4版』慶應義塾大学出版会					
課題に対する フィードバック	毎回の授業において、課題に対するコメントをする。					
成績評価方法	平常点(50%)、プレゼンテーション(50%)により評価する。					
成績評価基準	学習の到達目標にどの位到達したかを、本学の学業成績判定に関する規定の基準に基づき評価する。					
履修上の 注意事項や 学習上の助言	教員が指示する課題は必ずやってくること。 授業計画は、受講生の理解度や要望に応じて若干の変更を加える場合がある。					
科目に関連した 教員の実務経験	特になし。					
担当教員への 連絡方法	質問等はメール(yoshimoto@aikoku-u.org)にて受け付ける。					

授業スケジュール

人間文化演習〔日本理解専攻〕

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション——日常と研究とを結ぶために シラバスを読み、授業の概要と目的について理解をしておくこと。 次回の講読文献選定に向けて、文献の候補について考えておくこと。
2 回	学習内容 予習 復習	講読文献の選定 教員の指示に従い、文献について調べておくこと。 教員の指示に従い、課題文献を読んでおくこと。
3 回	学習内容 予習 復習	文献講読とディスカッション 読んだ課題文献の内容をまとめておくこと。また、発表者は発表の準備をすること。 教員の指示に従い、課題文献を読んでおくこと。
4 回	学習内容 予習 復習	文献講読とディスカッション 読んだ課題文献の内容をまとめておくこと。また、発表者は発表の準備をすること。 教員の指示に従い、課題文献を読んでおくこと。
5 回	学習内容 予習 復習	文献講読とディスカッション 読んだ課題文献の内容をまとめておくこと。また、発表者は発表の準備をすること。 教員の指示に従い、課題文献を読んでおくこと。
6 回	学習内容 予習 復習	文献講読とディスカッション 読んだ課題文献の内容をまとめておくこと。また、発表者は発表の準備をすること。 教員の指示に従い、課題文献を読んでおくこと。
7 回	学習内容 予習 復習	文献講読とディスカッション 読んだ課題文献の内容をまとめておくこと。また、発表者は発表の準備をすること。 教員の指示に従い、課題文献を読んでおくこと。
8 回	学習内容 予習 復習	文献講読とディスカッション 読んだ課題文献の内容をまとめておくこと。また、発表者は発表の準備をすること。 教員の指示に従い、課題文献を読んでおくこと。
9 回	学習内容 予習 復習	文献講読とディスカッション 読んだ課題文献の内容をまとめておくこと。また、発表者は発表の準備をすること。 教員の指示に従い、課題文献を読んでおくこと。
10 回	学習内容 予習 復習	文献講読とディスカッション 読んだ課題文献の内容をまとめておくこと。また、発表者は発表の準備をすること。 教員の指示に従い、課題文献を読んでおくこと。
11 回	学習内容 予習 復習	文献講読とディスカッション 読んだ課題文献の内容をまとめておくこと。また、発表者は発表の準備をすること。 教員の指示に従い、課題文献を読んでおくこと。
12 回	学習内容 予習 復習	文献講読とディスカッション 読んだ課題文献の内容をまとめておくこと。また、発表者は発表の準備をすること。 教員の指示に従い、課題文献を読んでおくこと。
13 回	学習内容 予習 復習	文献講読とディスカッション 読んだ課題文献の内容をまとめておくこと。また、発表者は発表の準備をすること。 教員の指示に従い、課題文献を読んでおくこと。
14 回	学習内容 予習 復習	文献講読とディスカッション 読んだ課題文献の内容をまとめておくこと。また、発表者は発表の準備をすること。 教員の指示に従い、課題文献を読んでおくこと。
15 回	学習内容 予習 復習	これまでの成果のまとめ これまでの文献講読で学んだ内容について整理し、まとめておくこと。 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う。

授業スケジュール

人間文化演習〔日本理解専攻〕

16 回	学習内容 予習 復習	研究の進め方と研究計画の立て方① 教員から休暇前に指示があるのでそれに従うこと。 研究テーマについて考えておくこと。
17 回	学習内容 予習 復習	研究の進め方と研究計画の立て方② 自身で選んだ研究テーマについて調べ、まとめておくこと。 授業で学んだ内容に沿って、研究計画を立てておくこと。
18 回	学習内容 予習 復習	研究計画の立案と発表① 研究テーマに沿って、研究資料について調べておくこと。 授業で学んだ内容を整理し、研究計画を修正すること。
19 回	学習内容 予習 復習	研究計画の立案と発表② 研究テーマに沿って、研究資料について調べておくこと。 授業で学んだ内容を整理し、研究計画を修正すること。
20 回	学習内容 予習 復習	文献資料の収集と講読① 関連する研究資料を読み、内容を整理すること。 授業で学んだ内容を整理し、さらに研究資料を調べておくこと。
21 回	学習内容 予習 復習	文献資料の収集と講読② 関連する研究資料を読み、内容を整理すること。 授業で学んだ内容を整理し、さらに研究資料を調べておくこと。
22 回	学習内容 予習 復習	文献資料の収集と講読③ 関連する研究資料を読み、内容を整理すること。 授業で学んだ内容を整理し、さらに研究資料を調べておくこと。
23 回	学習内容 予習 復習	先行研究の検討と論点の抽出① 研究テーマに沿って、先行研究を整理すること。 授業で学んだ内容を整理し、関連する研究資料について調べ、まとめておくこと。
24 回	学習内容 予習 復習	先行研究の検討と論点の抽出② 研究テーマに沿って、先行研究を整理すること。 授業で学んだ内容を整理し、関連する研究資料について調べ、まとめておくこと。
25 回	学習内容 予習 復習	研究計画の再設定① これまでの研究成果をもとに、研究計画について見直しておくこと。 新たな研究計画に沿って、文献の講読をすすめること。
26 回	学習内容 予習 復習	研究計画の再設定② これまでの研究成果をもとに、研究計画について見直しておくこと。 新たな研究計画に沿って、文献の講読をすすめること。
27 回	学習内容 予習 復習	研究構想発表① これまでの研究成果をまとめ、発表の準備をすること。 授業で学んだ内容を踏まえて、研究方針について再検討すること。
28 回	学習内容 予習 復習	研究構想発表② これまでの研究成果をまとめ、発表の準備をすること。 授業で学んだ内容を踏まえて、研究方針について再検討すること。
29 回	学習内容 予習 復習	研究構想発表③ これまでの研究成果をまとめ、発表の準備をすること。 授業で学んだ内容を踏まえて、研究方針について再検討すること。
30 回	学習内容 予習 復習	これまでのまとめと今後の研究計画 これまでの授業で学んだ内容についてまとめておくこと。 教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従うこと。

科 目 名	人間文化演習〔心理・生活専攻〕			科目コード	GR107	
英 文 名	Graduation Research Seminar I (Major of Life and Psychology)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	中村 博子		教員コード	162	単 位 数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	火曜日・4時限		授業形態	演習
学位授与方針との対応	○	1.大学生としての幅広い教養を身につける		○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	○	3.論理的・批判的なものの見方を養う		○	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	◎	5.学習の過程で発見した課題を探究する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	心理学研究における研究方法・研究結果についていくつか紹介する。それをもとに各自の興味関心のある研究テーマについて議論する。また、卒業研究の準備として、論文の読み方や書き方についての練習を行う。					
授業の狙い・到達目標	心理学の研究について、課題の発見や研究方法、結果のまとめ方などを理解するとともに、文献の読み方や論文の書き方を修得することができる。					
授業内容のレベル・関連科目	これまでの心理学関連の講義科目とは異なり、ゼミ形式の授業として発表や積極的な議論の参加を求める。心理学実験実習や心理学研究法、また自身の関心のある心理学分野の各科目について履修済みもしくは合わせての履修が望ましい。					
授業外学習(予習・復習)	関心のある日常の心理的現象について自分なりにまとめておくこと。また、毎回の授業内容については自分なりに振り返り、要約をするとともに、課題の提出に備えること。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計120時間
使用教科書	木下是雄『理科系の作文技術』中公新書					
参考書・その他教材	授業の際に適宜紹介あるいは配布を行う。					
課題に対するフィードバック	提出された課題やレポートについては授業の際に適宜フィードバックを行う。					
成績評価方法	授業態度(20%)、課題およびレポート(80%)で総合的に評価する。					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	原則として毎回出席し、積極的に議論に参加すること。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	授業前後での質問、メールでの質問(hnakamura@aikoku-u.org)を受け付ける。 メールでの問合せは、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。					

授業スケジュール

人間文化演習〔心理・生活専攻〕

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクションー演習の内容や進め方について シラバスを熟読し、授業の概要についておおむね理解しておくこと 授業の目的・内容、授業の進め方などについて振り返り、理解を深めること
2 回	学習内容 予習 復習	心理学研究への導入ー心理学研究の範囲や特徴 これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
3 回	学習内容 予習 復習	心理学研究の紹介①ー知覚心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
4 回	学習内容 予習 復習	心理学研究の紹介②ー認知心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
5 回	学習内容 予習 復習	心理学研究の紹介③ー社会心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
6 回	学習内容 予習 復習	心理学研究の紹介④ー性格心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
7 ・ 8 ・ 9 ・ 10 回	学習内容 予習 復習	研究テーマディスカッションー心理学的研究のテーマについて自由に議論する 自分が関心のある心理学的研究のテーマについて考えておくこと 授業で行った議論をもとにあらためて研究テーマについて考えをまとめておくこと
11 回	学習内容 予習 復習	研究の基本的技能①ー文献検索の意義、具体的方法 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと 自分の興味のあるテーマやトピックに関する文献を検索すること
12 回	学習内容 予習 復習	研究の基本的技能②ー文献の読み方(専門書、論文、報告書) 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと 自分の興味のあるテーマやトピックに関する文献を読むこと
13 回	学習内容 予習 復習	研究の基本的技能③ー読書メモの作成法 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと これまでに読んだ文献について読書メモを作成すること
14 回	学習内容 予習 復習	研究の基本的技能④ーレジュメの作成法 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと これまでに読んだ文献についてレジュメを作成すること
15 回	学習内容 予習 復習	研究技能訓練のための課題ー出題内容と取り組み方法の説明と実施 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと 指示された課題について取り組み提出すること

16 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読①－文書作成の準備 テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
17 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読②－文章の組み立て、パラグラフ テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
18 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読③－明確な文章、「事実」と「意見」の違い テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
19 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読④－わかりやすく簡潔な表現 テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
20 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読⑤－わかりやすい発表の仕方 テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
21 ・ 22 ・ 23 回	学習内容 予習 復習	論理的思考の訓練－課題形式で思考力の訓練を行う 配布資料に目を通して発表の準備をしておくこと 自分や他の人の発表内容をふまえて、次の課題に備えること
24 ・ 25 回	学習内容 予習 復習	説明の練習－日常的な心理現象を論理的に説明する練習を行う 日常的な心理現象について集めておくこと 授業で扱ったもの以外の心理現象について論理的な説明を考えること
26 ・ 27 ・ 28 ・ 29 回	学習内容 予習 復習	心理学文献の輪読－卒業研究に関連するテーマの文献を読み、レジュメにまとめ、発表する 関心のあるトピックに関連した心理学的研究を扱った論文を見つけておくこと 自分の発表に備えてレジュメを作成すること
30 回	学習内容 予習 復習	まとめ－卒業研究への導入 これまでの学習内容を自分なりに整理しておくこと 卒業研究のテーマについて考えておくこと

科 目 名	人間文化演習〔心理・生活専攻〕			科目コード	GR108	
英 文 名	Graduation Research Seminar I (Major of Life and Psychology)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	原島 雅之		教員コード	142	単 位 数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	火曜日/4時限		授業形態	演習
学位授与方針との対応	○	1.大学生としての幅広い教養を身につける		○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	○	3.論理的・批判的なものの見方を養う		○	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	◎	5.学習の過程で発見した課題を探究する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	心理学研究における研究方法・研究結果についていくつか紹介する。それをもとに各自の興味関心のある研究テーマについて議論する。また、卒業研究の準備として、論文の読み方や書き方についての練習を行う。					
授業の狙い・到達目標	心理学の研究について、課題の発見や研究方法、結果のまとめ方などを理解するとともに、文献の読み方や論文の書き方を修得することができる。					
授業内容のレベル・関連科目	これまでの心理学関連の講義科目とは異なり、ゼミ形式の授業として発表や積極的な議論の参加を求める。心理学実験実習や心理学研究法、また自身の関心のある心理学分野の各科目について履修済みもしくは合わせての履修が望ましい。					
授業外学習(予習・復習)	関心のある日常の心理的現象について自分なりにまとめておくこと。また、毎回の授業内容については自分なりに振り返り、要約をするとともに、課題の提出に備えること。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計120時間
使用教科書	木下是雄『理科系の作文技術』中公新書					
参考書・その他教材	授業の際に適宜紹介あるいは配布を行う。					
課題に対するフィードバック	提出された課題やレポートについては授業の際に適宜フィードバックを行う。					
成績評価方法	授業態度(20%)、課題およびレポート(80%)で総合的に評価する。					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	原則として毎回出席し、積極的に議論に参加すること。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	harashima@aikoku-u.org					

授業スケジュール

人間文化演習〔心理・生活専攻〕

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクションー演習の内容や進め方について シラバスを熟読し、授業の概要についておおむね理解しておくこと 授業の目的・内容、授業の進め方などについて振り返り、理解を深めること
2 回	学習内容 予習 復習	心理学研究への導入ー心理学研究の範囲や特徴 これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
3 回	学習内容 予習 復習	心理学研究の紹介①ー知覚心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
4 回	学習内容 予習 復習	心理学研究の紹介②ー認知心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
5 回	学習内容 予習 復習	心理学研究の紹介③ー社会心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
6 回	学習内容 予習 復習	心理学研究の紹介④ー性格心理学の研究テーマ・方法・結果について紹介する これまでに受けた心理学の授業内容について自分なりに振り返りをしておくこと 配布資料などをもとに授業内容について自分なりに整理すること
7 ・ 8 ・ 9 ・ 10 回	学習内容 予習 復習	研究テーマディスカッションー心理学的研究のテーマについて自由に議論する 自分が関心のある心理学的研究のテーマについて考えておくこと 授業で行った議論をもとにあらためて研究テーマについて考えをまとめておくこと
11 回	学習内容 予習 復習	研究の基本的技能①ー文献検索の意義、具体的方法 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと 自分の興味のあるテーマやトピックに関する文献を検索すること
12 回	学習内容 予習 復習	研究の基本的技能②ー文献の読み方(専門書、論文、報告書) 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと 自分の興味のあるテーマやトピックに関する文献を読むこと
13 回	学習内容 予習 復習	研究の基本的技能③ー読書メモの作成法 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと これまでに読んだ文献について読書メモを作成すること
14 回	学習内容 予習 復習	研究の基本的技能④ーレジュメの作成法 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと これまでに読んだ文献についてレジュメを作成すること
15 回	学習内容 予習 復習	研究技能訓練のための課題ー出題内容と取り組み方法の説明と実施 自分の興味のあるテーマやトピックについてまとめておくこと 指示された課題について取り組み提出すること

16 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読①－文書作成の準備 テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
17 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読②－文章の組み立て、パラグラフ テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
18 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読③－明確な文章、「事実」と「意見」の違い テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
19 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読④－わかりやすく簡潔な表現 テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
20 回	学習内容 予習 復習	テキストの輪読⑤－わかりやすい発表の仕方 テキストの該当部分に目を通しておくこと テキストの該当部分をあらためて読み直し、整理しておくこと
21 ・ 22 ・ 23 回	学習内容 予習 復習	論理的思考の訓練－課題形式で思考力の訓練を行う 配布資料に目を通して発表の準備をしておくこと 自分や他の人の発表内容をふまえて、次の課題に備えること
24 ・ 25 回	学習内容 予習 復習	説明の練習－日常的な心理現象を論理的に説明する練習を行う 日常的な心理現象について集めておくこと 授業で扱ったもの以外の心理現象について論理的な説明を考えること
26 ・ 27 ・ 28 ・ 29 回	学習内容 予習 復習	心理学文献の輪読－卒業研究に関連するテーマの文献を読み、レジュメにまとめ、発表する 関心のあるトピックに関連した心理学的研究を扱った論文を見つけておくこと 自分の発表に備えてレジュメを作成すること
30 回	学習内容 予習 復習	まとめ－卒業研究への導入 これまでの学習内容を自分なりに整理しておくこと 卒業研究のテーマについて考えておくこと

科 目 名	人間文化演習〔地域共生専攻〕			科目コード	GR110	
英 文 名	Graduation Research Seminar I (Major of Regional Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	岡庭 義行		教員コード	159	単 位 数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	水曜日・3時限		授業形態	演習
学位授与方針との対応	○	1.大学生としての幅広い教養を身につける		○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	○	3.論理的・批判的なものの見方を養う		○	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	◎	5.学習の過程で発見した課題を探究する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	地域社会における多様な「共生」の課題と論理を体系的且つ実証的に理解することを目的とする。履修生は、自己の関心テーマに基づいて、資料収集や整理の技法を学び、共生の思考を獲得することを目途とする。					
授業の狙い・到達目標	〔到達目標①〕「共生」に関する諸問題を解説した概念と理論を用いて説明することができる。 〔到達目標②〕「共生」に関する資料や情報を収集整理し、自らの言葉で説明することができる。 〔到達目標③〕日常にある差別と包摂の課題を抽出し、その解決に向けた取り組みを提案できる。					
授業内容のレベル・関連科目	論文作成のための資料収集、整理・体系化の技術、及び分析的思考を涵養することが求められるため、関連する講義等を積極的に履修することが望ましい。					
授業外学習(予習・復習)	〔事前学習〕日頃から民族、信仰、性別、年齢、障がい等に基づくさまざまな課題事例を収集しておくこと。〔事後学習〕学習内容を自己の問題意識や生活上の課題に接続させて理解を深めること。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計120時間
使用教科書	特になし					
参考書・その他教材	各テーマに基づき演習中に関係資料を明示するとともに、参考文献の一覧を配布する。					
課題に対するフィードバック	提出課題はすべてコメントを記して返却し、適宜、関連資料を付して解説する。					
成績評価方法	・課題レポート〔到達目標①〕(50%)、 ・講義中の小課題・リアクション・ペーパー〔到達目標②③〕(20%)、・講義への参加状況(30%)					
成績評価基準	授業の狙いにあげた学習到達目標にどのくらい到達したかを、本学の「学業成績判定に関する規程の基準」に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	日常生活におけるさまざまな共生に関する事象や課題に関心をもち、次年度の卒業論文を展望しながら主体的に学習することが望ましい。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	メールでの質問(okaniwa@aikoku-u.org)、またはオフィスアワー(新年度に掲示)。もちろん授業終了後に、直接聞くことも可。					

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション ―演習の目的と進め方, 共生のしくみと考え方― シラバスを精読し演習の概要と方法について確認しておくこと。 演習の目的や内容について確認し, 以降の講義の目標と展望を深める。
2 回	学習内容 予習 復習	関心領域の開拓① 学術論文 さまざまな資料・情報・知見にアクセスして, 研究の視野と関心領域と広げる。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
3 回	学習内容 予習 復習	関心領域の開拓② 記事・時事問題 さまざまな資料・情報・知見にアクセスして, 研究の視野と関心領域と広げる。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
4 回	学習内容 予習 復習	関心領域の開拓③ 社会生活・身近な事象 さまざまな資料・情報・知見にアクセスして, 研究の視野と関心領域と広げる。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
5 回	学習内容 予習 復習	資料収集の技術① 図書館リファレンスの活用法 図書館リファレンス, オンライン情報検索, 非言語情報の固定化など資料収集の技術を習得する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
6 回	学習内容 予習 復習	資料収集の技術② 博物館・美術館の研究支援サービス 図書館リファレンス, オンライン情報検索, 非言語情報の固定化など資料収集の技術を習得する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
7 回	学習内容 予習 復習	資料収集の技術③ 社会調査法・フィールドワーク 図書館リファレンス, オンライン情報検索, 非言語情報の固定化など資料収集の技術を習得する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
8 回	学習内容 予習 復習	資料の読み方① 報告書・学術論文の読み方 資料の深層にある情報を抽出して事象の本質を浮揚させ言語化する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
9 回	学習内容 予習 復習	資料の読み方② 一次資料(raw data)の読み方 資料の深層にある情報を抽出して事象の本質を浮揚させ言語化する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
10 回	学習内容 予習 復習	資料の読み方③ アーカイブの読み方 資料の深層にある情報を抽出して事象の本質を浮揚させ言語化する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
11 回	学習内容 予習 復習	資料の分析と体系化① 資料分析の種類 収集された資料を分析して, 研究資料として活用可能な状態にするための手続きを考える。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
12 回	学習内容 予習 復習	資料の分析と体系化② 体系化の事例 収集された資料を分析して, 研究資料として活用可能な状態にするための手続きを考える。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
13 回	学習内容 予習 復習	資料の分析と体系化③ 個別事例の分析と体系化 収集された資料を分析して, 研究資料として活用可能な状態にするための手続きを考える。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
14 回	学習内容 予習 復習	資料の分析と体系化④ 分析と体系化の実践 収集された資料を分析して, 研究資料として活用可能な状態にするための手続きを考える。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り, 演習の内容と目的を精査する。
15 回	学習内容 予習 復習	まとめ・総括 ―共生の思想を再考する― 前期の演習を振り返り, 可能な限り近接する講義や日常の問題意識に結びつけること。 学習内容を各自の学問的関心に接続させ, 今後の学びを発展させていく。

16 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション ― 共生への理解を深める ― シラバスを精読し演習の概要と方法について確認しておくこと。 演習の目的や内容について確認し、以降の講義の目標と展望を深める。
17 回	学習内容 予習 復習	論理的思考と表現技法① 論理的思考とは何か 論文作成のための論理的思考を涵養し、自らの言葉で表現するための学習を心がける。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
18 回	学習内容 予習 復習	論理的思考と表現技法② 論理的思考の事例 論文作成のための論理的思考を涵養し、自らの言葉で表現するための学習を心がける。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
19 回	学習内容 予習 復習	論理的思考と表現技法③ 言葉による表現 論文作成のための論理的思考を涵養し、自らの言葉で表現するための学習を心がける。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
20 回	学習内容 予習 復習	論理的思考と表現技法④ 文字表現の基礎 論文作成のための論理的思考を涵養し、自らの言葉で表現するための学習を心がける。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
21 回	学習内容 予習 復習	論理的思考と表現技法⑤ 論文構成の応用 論文作成のための論理的思考を涵養し、自らの言葉で表現するための学習を心がける。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
22 回	学習内容 予習 復習	思考表現の実践① ディスカッション、取り組み課題の説明 論文作成に向けて設定課題に関する理解を深め、収集資料について考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
23 回	学習内容 予習 復習	思考表現の実践② 分析枠の選択 論文作成に向けて設定課題に関する理解を深め、収集資料について考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
24 回	学習内容 予習 復習	思考表現の実践③ フィールドワーク 論文作成に向けて設定課題に関する理解を深め、収集資料について考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
25 回	学習内容 予習 復習	思考表現の実践④ 論文・レポートの作成(1) 論文作成に向けて設定課題に関する理解を深め、収集資料について考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
26 回	学習内容 予習 復習	思考表現の実践⑤ 論文・レポートの作成(2) 論文作成に向けて設定課題に関する理解を深め、収集資料について考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
27 回	学習内容 予習 復習	思考表現の実践⑥ プレゼンテーションの実践(1) 論文作成に向けて設定課題に関する理解を深め、収集資料について考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
28 回	学習内容 予習 復習	思考表現の実践⑦ プレゼンテーションの実践(2) 論文作成に向けて設定課題に関する理解を深め、収集資料について考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
29 回	学習内容 予習 復習	思考表現の実践⑧ 振り返りとディスカッション 論文作成に向けて設定課題に関する理解を深め、収集資料について考察する。 指導教員からの指導と自身の考えやアイデアを振り返り、演習の内容と目的を精査する。
30 回	学習内容 予習 復習	まとめ・総括 ― 表現と表象の位相 ― これまでの演習を振り返り、可能な限り近接する課題や日常の問題意識に結びつけること。 学習内容を各自の学問的関心に接続させ、今後の学びを発展させていく。

科目名	人間文化演習〔ビジネス専攻〕			科目コード	GR114	
英 文 名	Graduation Research Seminar I (Major of Business Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	大屋 伸彦		教員コード	161	単 位 数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	火曜日/2時限		授業形態	演習
学位授与方針 との対応	○	1.大学生としての幅広い教養を身につける		○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	○	3.論理的・批判的なものの見方を養う		○	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	◎	5.学習の過程で発見した課題を探究する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	論文を作成する上でのマナーや書き方を理解する。 ビジネスや情報に関連する社会問題について広く理解する。					
授業の狙い・ 到達目標	理論的な物の考え方を身につけ、プレゼンテーションの能力を身につけることができる。 文章作成能力が身につけることができる。 他者への意見を自分の言葉で述べられるようになる。					
授業内容の レベル・関連科目	ビジネス専攻に関係する知識を得ていることが前提となる。 これまで履修した科目がすべてが関連する。					
授業外学習 (予習・復習)	何事も受け身にならず、自ら調べ疑問を解決できるように心がけること。				授業外学習に 必要な時間	各回4時間、 合計120時間
使用教科書	教員が資料を配布する予定。					
参考書・ その他教材	講義内で必要となった場合に指示する。					
課題に対する フィードバック	講義内に行う。					
成績評価方法	課題レポート(80%)、授業への取り組み(20%)					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の 注意事項や 学習上の助言	課題提出の期日は必ず守ること。					
科目に関連した 教員の実務経験	特になし					
担当教員への 連絡方法	メールでの質問(ohya@aikoku-u.org)またはオフィスアワー(初回講義時にアナウンスする)。メールでの問合せは、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。					

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の進め方など) シラバスを読んでおくこと 講義の目的を理解しておくこと
2 回	学習内容 予習 復習	身のまわりにある社会問題についてのディスカッション 自分がどのようなことに興味があるのか考えておくこと 他者の意見を参考に自分の考えをまとめること
3 回	学習内容 予習 復習	身のまわりにある社会問題についてのディスカッション 自分がどのようなことに興味があるのか考えておくこと 他者の意見を参考に自分の考えをまとめること
4 回	学習内容 予習 復習	身のまわりにある社会問題についてのディスカッション 自分がどのようなことに興味があるのか考えておくこと 他者の意見を参考に自分の考えをまとめること
5 回	学習内容 予習 復習	論文とは？(概要の説明、昨年度の例を参考に) 配布のプリントを読んでおくこと 講義の内容を理解しておくこと
6 回	学習内容 予習 復習	論文とは？(引用文献について) 配布のプリントを読んでおくこと 講義の内容を理解しておくこと
7 回	学習内容 予習 復習	論文とは？(引用文献の整理方法) 配布のプリントを読んでおくこと 講義の内容を理解しておくこと
8 回	学習内容 予習 復習	論文とは？(論文の表現や盗用について) 配布のプリントを読んでおくこと 講義の内容を理解しておくこと
9 回	学習内容 予習 復習	論文とは？(論文の表現や盗用について) 配布のプリントを読んでおくこと 講義の内容を理解しておくこと
10 回	学習内容 予習 復習	論文の書き方(起承転結について) 配布のプリントを読んでおくこと 講義の内容を理解しておくこと
11 回	学習内容 予習 復習	論文の書き方(実践:wordの使い方) PCの操作について復習しておくこと 講義の内容を理解しておくこと
12 回	学習内容 予習 復習	発表スライドの作り方(実践:powerpointの使い方) PCの操作について復習しておくこと 講義の内容を理解しておくこと
13 回	学習内容 予習 復習	発表準備(テーマはこちらで指定) 発表の準備をすすめておくこと 発表の準備をすすめておくこと
14 回	学習内容 予習 復習	発表準備 発表の準備をすすめておくこと 発表の準備をすすめておくこと
15 回	学習内容 予習 復習	発表 発表の準備をすすめておくこと 他者の発表から学べたことをまとめておくこと

授業スケジュール

人間文化演習〔ビジネス専攻〕

16 回	学習内容 予習 復習	テーマを自分で考えて論文が作成できるかを検討する 各自でテーマを考えておく 講義の内容を理解しておくこと
17 回	学習内容 予習 復習	テーマに沿ったマインドマップを考える 情報を整理しておくこと 講義の内容を理解しておくこと
18 回	学習内容 予習 復習	発表したいテーマを決定する テーマについてリサーチしておくこと 講義の内容を理解しておくこと
19 回	学習内容 予習 復習	論文を書いていく テーマについてリサーチしておくこと 文章を書いていく
20 回	学習内容 予習 復習	論文を書いていく(適宜フィードバック) 文章を書いていく 文章を書いていく
21 回	学習内容 予習 復習	論文を書いていく(適宜フィードバック) 文章を書いていく 文章を書いていく
22 回	学習内容 予習 復習	論文をもとにスライドを作成していく powerpointを復習しておくこと スライドの作成
23 回	学習内容 予習 復習	論文をもとにスライドを作成していく スライドの作成 スライドの作成
24 回	学習内容 予習 復習	論文をもとにスライドを作成していく スライドの作成 スライドの作成
25 回	学習内容 予習 復習	発表 スライドの作成 発表でできなかったことを修正する
26 回	学習内容 予習 復習	発表のフィードバック 発表でできなかったことを修正する 発表でできなかったことを修正する
27 回	学習内容 予習 復習	発表のフィードバック 発表でできなかったことを修正する 発表でできなかったことを修正する
28 回	学習内容 予習 復習	再発表 発表でできなかったことを修正する 発表でできなかったことを修正する
29 回	学習内容 予習 復習	再発表のフィードバック 発表でできなかったことを修正する 発表でできなかったことを修正する
30 回	学習内容 予習 復習	これまでの総括 これまでの講義を振り返っておくこと 次年度に向けて自分に必要なことを考えておく

科 目 名	人間文化演習〔ビジネス専攻〕				科目コード	GR115	
英 文 名	Graduation Research Seminar I (Major of Business Studies)				科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	日坂 彰		教員コード	137		単 位 数	2単位
開講期間	通年		曜日・時限	金曜日・2時限		授業形態	演習
学位授与方針 との対応	○	1.大学生としての幅広い教養を身につける		○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	○	3.論理的・批判的なものの見方を養う		○	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	◎	5.学習の過程で発見した課題を探究する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	課題設定能力、情報収集・分析能力と解決案としての企画立案能力を養うことを目的にしている。毎回テーマを提示し、教師と学生が問答を通して、学生の考える力を引き出すことをねらいとしている。						
授業の狙い・ 到達目標	問題解決の流れや手法を理解させ、問題の構造や本質を見極めることができる能力を涵養する。問題の社会的背景や要点間の連関を俯瞰的視点で考える能力が習得できる。						
授業内容の レベル・関連科目	共通科目全般及びビジネス専攻科目に加えて、本学開講科目のあらゆる科目との関連可能性あり						
授業外学習 (予習・復習)	授業の最後に、まとめの復習スライドと次回講義の予習スライドを配布する。これにもとづいて、予習、復習すること。					授業外学習に 必要な時間	各回4時間、 合計120時間
使用教科書	桑田てるみ、「学生のレポート・論文作成トレーニング」改訂版、実教出版						
参考書・ その他教材	石井 一成、「ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方」、ナツメ社						
課題に対する フィードバック	課題演習や不定期に「理解度の確認テスト」などをおこない、次の週に解答を示す。						
成績評価方法	①レポート(80%)、②平常点(20%)により評価する。						
成績評価基準	授業において、課題設定、情報収集・分析、解決案に積極的に取り組んでいるかどうか、また本学の学業成績判定に関する規程の基準に準拠する。						
履修上の 注意事項や 学習上の助言	創発的な交流と品格ある場を皆で形成し、少人数のチーム編成で問題・課題を抽出するために能動的かつ積極的な姿勢で臨んでいただきたい。						
科目に関連した 教員の実務経験	特になし						
担当教員への 連絡方法	日坂彰(につさかあきら) anissaka@aikoku-u.org 送信に際しては件名、学籍番号、氏名を忘れずに記入すること。						

授業スケジュール

人間文化演習〔ビジネス専攻〕

1 回	学習内容 予習 復習	<イントロダクション>授業の進め方、目標の確認 シラバスをあらかじめ読んでおくこと 授業の進め方などについて振り返ること
2 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(1)> 問題解決演習PBLについて 演習の進め方の資料を読んでおくこと 演習課題について考える
3 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(1)> PBLの基本構成について 演習課題について考える 演習を振り返ること
4 回	学習内容 予習 復習	<事例紹介>問題解決演習の進め方 演習課題について考える 演習内容についてまとめを作成すること
5 回	学習内容 予習 復習	<事例紹介>チームによる解決手法 予習スライドを読んでくること 授業を振り返ること
6 回	学習内容 予習 復習	<事例紹介>役割分担とコミュニケーション 予習スライドを読んでくること 授業を振り返ること
7 回	学習内容 予習 復習	<事例紹介>学習計画とスケジューリング 予習スライドを読んでくること 授業を振り返ること
8 回	学習内容 予習 復習	<事例紹介>情報収集分析演習 予習スライドを読んでくること 授業を振り返ること
9 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマAによる演習・ディスカッション 演習の進め方の資料を読んでおくこと 演習を振り返ること
10 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマAによる演習・ディスカッション 演習内容について考える 演習を振り返ること
11 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマAによる演習・ディスカッション 演習課題について考える 演習のまとめを作成すること
12 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> レポート作成 予習スライドを読んでくること 演習を振り返る
13 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> レポート作成 予習スライドを読んでくること 演習を振り返る
14 回	学習内容 予習 復習	<発表と評価> 発表を準備する 演習を振り返る
15 回	学習内容 予習 復習	<発表と評価> 発表を準備する 演習を振り返る

授業スケジュール

人間文化演習〔ビジネス専攻〕

16 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマBによる演習 予習スライドを読んでもくること 演習を振り返ること
17 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマBによる演習・ディカッション 予習スライドを読んでもくること 演習を振り返ること
18 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマBによる演習・ディスカッション 予習スライドを読んでもくること 演習内容のまとめを作成すること
19 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマBのレポート作成 予習スライドを読んでもくること 演習を振り返ること
20 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマBのパワーポイント作成 予習スライドを読んでもくること 演習を振り返ること
21 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマBのパワーポイント作成 予習スライドを読んでもくること 演習内容のまとめを作成すること
22 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマCによる演習 予習スライドを読んでもくること 演習を振り返ること
23 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマCによる演習・ディカッション 予習スライドを読んでもくること 演習を振り返ること
24 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマCによる演習・ディスカッション 予習スライドを読んでもくること 演習を振り返ること
25 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマCのレポート作成 予習スライドを読んでもくること 演習を振り返ること
26 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマCのレポート作成 予習スライドを読んでもくること 演習を振り返ること
27 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマCのパワーポイント作成 予習スライドを読んでもくること 演習を振り返ること
28 回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマCのパワーポイント作成 予習スライドを読んでもくること 発表の準備をする
29 回	学習内容 予習 復習	<発表と評価> 発表の準備をする 発表を振り返ること
30 回	学習内容 予習 復習	<発表と評価>総合発表 発表の準備をする 授業の全体を振り返ること

科 目 名	人間文化演習〔ビジネス専攻〕			科目コード	GR116	
英 文 名	Graduation Research Seminar I (Major of Business Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	呉 鷹		教員コード	157	単 位 数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	月曜日・4時限		授業形態	演習
学位授与方針 との対応	○	1.大学生としての幅広い教養を身につける		○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	○	3.論理的・批判的なものの見方を養う		○	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	◎	5.学習の過程で発見した課題を探究する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	人間文化演習では、経済社会の諸現象、諸問題を理解するための基礎知識を習得し、課題の作成により、研究背景・研究課題・先行研究の整理並びに文献・情報の収集と分析等に基づいた学術的文章作成のスキルを高める。					
授業の狙い・ 到達目標	経済社会の諸現象、諸問題を論理的に分析する基礎知識を学ぶ。統計データに基づいた分析のスキルを習得し、論理的な文章を作成することができるようになる。					
授業内容の レベル・関連科目	論理的な文章の作成に必要とされる基礎知識とスキルを習得する。関連科目：卒業研究演習に限らない。					
授業外学習 (予習・復習)	配布資料と教科書の予習・復習、事前・事後調べが必要である。演習での指導内容を踏まえ、小論文を作成する。				授業外学習に 必要な時間	各回4時間、 合計120時間
使用教科書	桑田てるみ編『学生のレポート・論文作成トレーニング』(改訂版)実教出版(2015)					
参考書・ その他教材	龍谷大学農学部食料農業システム学科編『知っておきたい食・農・環境』昭和堂(2016)、 『農業と経済』昭和堂(2020年以降の特集)、『食料・農業・農村白書』農林水産省など					
課題に対する フィードバック	課題に対して、次回の演習で解説と講評を行う。					
成績評価方法	小論文作成30%、発表30%、輪読に対する理解度20%、平常点20%					
成績評価基準	演習課題の完成度をはじめとする自主的に取り組んでいた成果を踏まえ、本学の「学業成績判定に関する規定の基準」に基き、到達度を総合的に評価する。					
履修上の 注意事項や 学習上の助言	計画通りに主体的に取り組む。					
科目に関連した 教員の実務経験	特になし					
担当教員への 連絡方法	質問や相談など、メール(wu@aikoku-u.org)あるいは対面で対応する。メールの場合、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載する。対面の場合、授業終了後あるいはオフィスアワー(新年度に掲示)に対応する。					

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション、関心を持つ社会現象、社会問題への探究 シラバスを事前に確認し、関心を持っている社会現象や社会問題を5分間で説明してみる。 テーマに対するコメントを確認し、より深く調べるために、どのようなスキルが必要かを考える。
2 回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基本を知る 教科書の指定ページを予習する。 教科書の指定ページ、授業中の解説を復習し、演習課題を完成し、次回の演習で発表する。
3 回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(1) 発想力、読解力 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 演習内容と解説を復習し、演習課題を完成して次回の演習で発表する。
4 回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(2) 要約力 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 演習内容と解説を復習し、演習課題を完成して次回の演習で発表する。
5 回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(3) 新聞から学ぶ要約の仕組み 教科書の指定ページ、新聞記事の内容を予習する。 教科書の指定ページ、演習中の解説を復習し、演習課題を完成して次回の演習で発表する。
6 回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(4) 批判的思考力 教科書の指定ページを予習する。 教科書の指定ページ、演習中の解説を復習し、演習課題を完成して次回の演習で発表する。
7 回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(5) 表現力集中トレーニング 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 演習内容と解説を復習し、演習課題を完成して次回の演習で発表する。
8 回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(6) 表現力集中トレーニング 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 演習内容と解説を復習し、演習課題を完成して次回の演習で発表する。
9 回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(7) レポート・論文の表現 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 演習内容と解説を復習し、演習課題を完成して次回の演習で発表する。
10 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 課題発見力の養成(1) 輪読と発表 問題意識 教科書の指定ページ、輪読用の配布資料を予習する。 輪読用の配布資料と解説を復習し、問題意識を考えて次回の演習で発表する。
11 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 課題発見力の養成(2) 輪読と発表 論点を考える 教科書の指定ページ、輪読用の配布資料を予習する。 輪読用の配布資料と解説を復習し、論点を考えて次回の演習で発表する。
12 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 課題発見力の養成(3) 輪読と発表 論点を絞る 教科書の指定ページ、輪読用の配布資料を予習する。 輪読用の配布資料と解説を復習し、論点を絞って次回の演習で発表する。
13 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 情報探索力の養成(1) 輪読と発表 情報を探す 教科書の指定ページ、輪読用の配布資料を予習する。 輪読用の配布資料と解説を復習し、関連する情報を収集して次回の演習で発表する。
14 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 情報探索力の養成(2) 輪読と発表 文献を探す 教科書の指定ページ、輪読用の配布資料を予習する。 輪読用の配布資料と解説を復習し、関連する文献を整理して次回の演習で発表する。
15 回	学習内容 予習 復習	前期の総括 テーマ型小論文の作成 第2～14回の内容を復習し、関心を持っているテーマを探し、5分間で説明できるようにする。 第2～14回の内容を復習し、夏休み期間中にテーマ型小論文を完成する。

授業スケジュール

人間文化演習〔ビジネス専攻〕

16 回	学習内容 予習 復習	後期の学習目標、前期の課題発表 シラバスを事前に確認し、前期の課題であるテーマ型小論文の質を高める。 テーマ型小論文に対する講評と自分の新しい考えを踏まえ、小論文を修正して再提出する。
17 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 情報整理力の養成(1) 文献の整理と保存 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 演習内容と解説を復習し、文献を整理して保存する。
18 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 情報整理力の養成(2) 文献の取捨選択 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 演習内容と解説を復習し、関心を持っているテーマに関する文献の取捨選択を行う。
19 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ データ分析力の養成(1) 統計データの読み方(FAO等) 輪読用の配布資料を予習し、統計データを調べる。 演習内容と解説を復習し、統計データに基づいて図表を作成して文章で説明する。
20 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ データ分析力の養成(2) 統計データの読み方(FAO等) 輪読用の配布資料を予習し、統計データを調べる。 演習内容と解説を復習し、統計データに基づいて図表を作成して文章で説明する。
21 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ データ分析力の養成(3) 統計データの読み方(農林水産省等) 輪読用の配布資料を予習し、統計データを調べる。 演習内容と解説を復習し、統計データに基づいて図表を作成して文章で説明する。
22 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ データ分析力の養成(4) 統計データの読み方(農林水産省等) 輪読用の配布資料を予習し、統計データを調べる。 演習内容と解説を復習し、統計データに基づいて図表を作成して文章で説明する。
23 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ データ分析力の養成(5) 統計データの読み方(経済産業省等) 輪読用の配布資料を予習し、統計データを調べる。 演習内容と解説を復習し、統計データに基づいて図表を作成して文章で説明する。
24 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ データ分析力の養成(6) 統計データの読み方(経済産業省等) 輪読用の配布資料を予習し、統計データを調べる。 演習内容と解説を復習し、統計データに基づいて図表を作成して文章で説明する。
25 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ データ分析力の養成(7) 財務諸表の読み方(上場企業の損益計算書等) 輪読用の配布資料を予習し、上場企業の損益計算書を調べる。 演習内容と解説を復習し、上場企業の複数年度の損益計算書を踏まえて解説を行う。
26 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ データ分析力の養成(8) 財務諸表の読み方(上場企業の損益計算書等) 輪読用の配布資料を予習し、上場企業の損益計算書を調べる。 演習内容と解説を復習し、上場企業の複数年度の損益計算書を踏まえて解説を行う。
27 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 課題考察力の養成 考察を深める 教科書の指定ページと輪読用の配布資料を予習する。 演習内容と解説を踏まえ、第26回までに取り組んできた課題を一つ選択し、考察を深める。
28 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 論文構成力の養成 教科書の指定ページと配布資料を予習する。 演習内容と解説を踏まえ、卒論のテーマを考えて論文の骨子を考えてみる(箇条書き)。
29 回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 文章構成力の養成 教科書の指定ページと配布資料を予習する。 演習内容と解説を踏まえ、卒論の章立てを考える。
30 回	学習内容 予習 復習	総括(論文作成の要領をまとめる)、卒業研究演習に向けた準備 第2～29回の演習内容等を復習し、卒論のテーマを真剣に考える。 第2～29回の演習内容等を復習し、問題意識を明確にし、文献とデータの整理を行う。